

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	基礎柔道整復学・総論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 月曜日3限	教室名	2校舎301
担 当 教 員	尾藤 何時夢	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
向上を目指して下記のことを中心に教授する。 1.各組織の損傷 2.評価 3.下肢骨折[骨盤骨骨折]						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験: 100% 2. レポート: % 3. グループワーク中の態度・発表: %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
講義柔道整復学 理論編 改定第5版、柔道整復学 実技編 改定第2版						
《授業外における学習方法》						
授業ごとの復習を行うこと						
《履修に当たっての留意点》						
柔道整復学は国家試験にて問題数が最も多い科目になります。非常に重要な科目ですので、しっかりと、復習をしていってください。わからない言葉や内容が有りましたら遠慮せずに質問してください。頑張ってください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	基本的な関節の構造を把握する。	教科書	授業ごとの復習	
		各コマにおける授業予定	オリエンテーション、関節の形態、構造			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫の初期治療を把握する。	教科書	授業ごとの復習	
		各コマにおける授業予定	関節の損傷と初期処置(p46～58.95)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	捻挫の初期処置を把握する。	教科書	授業ごとの復習	
		各コマにおける授業予定	関節の損傷と初期処置(p46～58.96)			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・腱の損傷を把握する。	教科書	授業ごとの復習	
		各コマにおける授業予定	筋・腱の損傷と初期処置(p65～77.96)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋・腱の損傷の初期処置を把握する。	教科書	授業ごとの復習	
		各コマにおける授業予定	筋・腱の損傷と初期処置(p65～77.97)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経・血管・皮膚の損傷を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経・血管・皮膚の損傷と初期処置 (p78～86.97)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	末梢神経・血管・皮膚の損傷に対する初期処置を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	末梢神経・血管・皮膚の損傷と初期処置 (p78～86.97)		
第8回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	下肢の測定を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	下肢長の測定 (実技)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の解剖を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	骨盤の解剖、骨盤骨折の概要、分類、SMDとTMD		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の骨折を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	デュベルニー骨折、恥骨、坐骨、仙骨単独骨折		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の骨折を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	単独骨盤骨折、裂離骨折、上前腸骨棘裂離骨折、下前腸骨棘裂離骨折		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の骨折を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	坐骨結節裂離骨折、腸骨稜裂離骨折、国家試験問題		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の骨折を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	恥骨下枝疲労骨折、骨盤脆弱性骨折、国家試験問題		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	骨盤の骨折を把握する。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	骨盤骨輪骨折分類、straddle骨折、マルゲーニュ骨折、国家試験問題		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期履修内容の確認を行ない、国家試験同等問題が解けるようになる。	教科書	授業ごとの復習
		各コマにおける授業予定	前期講義のまとめ		